SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2)

				E HALAN TO 40				_				ーゲッ					
カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1		4 5		7							15 16	
				併せて記載してください。)	155. Mekit	 -v/* [i ė.	Ÿ	*	**************************************	*	÷ 41	⊘	(3) 291 (3)	140	¥ ¥	7. ∰
1		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差 別がないことを確認している	基本	・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している【予定】研修の実施、相談窓口の設置	C		5.1 5.2 5.5	2		8.5 8.7 8.8		10.2				16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備 している	基本	・セクハラを禁止する旨を就業規則に明記し、ハラスメントを禁止する研修の実施、相談窓口を設置している。			5.1 5.2 5.5	2		8.5 8.8						16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・労働基準法等の改正内容を経営者を含め共有している。 ・勤怠管理システムを導入し、残業の事前申請を厳格化した 運用を目指している。長時間労働の抑制はもちろん、上長が 部下の業務内容を深く理解し業務の効率化を図る。						8.5 8.8							
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	[予定]外国人労働者への適切な処遇や労働環境の体制整備を行う。		4	.4			8.7 8.8		10.2 10.3					
人権・		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・安全衛生委員会を設置し安全で働きやすい環境への改善を図っている。 ・委員会で行ったリスクアセスメントに基づき、事業場内の安全配慮設備を修繕している。	•	3				8							
労働		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・[予定]メンタルヘルスに関する方針と計画を策定する ・[予定]厚生労働省の導入により、労働者一人ひとりのメンタ ルヘルスに対する意識を高めている	タ	3											
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・多様な人材が活躍できる社内人事制度を設けている。 ・「社員の子育て応援宣言」登録し、女性が活躍できる体制 づくりに取り組んでいる。 ・[予定]女性管理職を積極的に登用する。			5.3 5.8			8.5		10.2 10.3					
3		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	教育体系の整備を進め、必要な資格取得に対する補助と資格手当の支給により従業員の資質向上を促いしている。	ř.		4 5.5	5		8	9						
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	2021年4月、同一労働同一賃金の原則による賃金制度に 対応した新賃金体系に移行。組織内の役割と責任を評価シ ステムに組入れ明確化。	,		5.5	5		8.5		10.2 10.3					
)		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・定期健康診断の実施はもちろん、健康保険協会保健指導を積極的に受け入れ、生活習慣病の予防対策を実施している。 ・[予定]安全衛生計画の重点項目として運動習慣の啓蒙を掲げている。	`	3				8							
1		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物の種類ごとに区切られた廃棄場所を設け、適切に分別廃棄するように随時注意喚起を行っている・廃棄物の処理は外部業者に委託し、マニフェスト管理をしている。	}							11.4	6 12.4		14.1		
2		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	環境省の中小企業地球温暖化対策推進ガイドラインに沿って排出量を把握している。					7.3					13			
3		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	[予定]環境省の中小企業地球温暖化対策推進ガイドライン に沿って目標を設定し、排出量の抑制に取り組む。					7.2 7.3				12.4	13.3			
辑 境		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組ん でいる	基本	有害化学物質を使用することはない。		3.9		6.3				11./	5 12.4				
5		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	販売するプラスチック製品をバイオ素材など環境対応製品 へと可能な限り切り替え、顧客にも採用を促す。				6.6							1	15	
6		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	プラスチックトレーの回収に協力し、メーカーのリサイクル工場に送っている。									12.5		14.1		
7		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	[予定]水道使用量を把握し、使用量の削減目標を設定する。				6.4									

			T- 45	具体的な取組	L						ゴール							45 4	0 17
ガナゴリ	非該 当	チェック項目	取組 レベル	(県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	1 m	2 ==	3		5		7 8		10						6 17
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	現状取得予定は無いが、環境マメジメントシステムに関する 情報収集とそれに係る当社の現状把握を行っていく。	14445		3.9				7	<u> </u>	(₹)	↑±±±			14		88
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	[予定]安全衛生委員会にて環境に対する取組を推進するための具体的取組を検討し、HPに取組を掲載する。											12.6				
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	[予定]太陽光発電された電力の受給方法を採用する。						7	.2					13			
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	営業車両を低排出ガス、高燃費車種に定期的に入れ替えている。											12.2	13	14	15	
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	[予定]汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内ルールブック「ORIKYO STANDERDRULEBOOK」に掲載し社内浸透を図る。															6 6.5
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	[予定]不正競争行為を含む行動規範を社内ルールブック「ORIKYO STANDERDRULEBOOK」に掲載し社内浸透を図る。														1	6
24 公正		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	[予定]特許、商標権等知的財産権の取得・管理を行う。							8.2 8.3	1 0							
な事 業慣 行		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	[予定]社員はもちろん、顧客を含めた個人情報に対する基本方針を定めて公表し、体制を整備する。														1	6
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	金・錫・コバルトなど該当するものは対応する。														1	6
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の 防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、 共に取り組んでいる	チャレンジ	関係する取引先で該当する事案がないか情報収集に努め る。					5		8		10		12	13	14	15 1	6 17
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品・サービスの使用時に想定されるリスクの洗い出しと対 策を実施している。			3.9								12.4				
29 製品・		【品質保証】・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	リモートでも顧客情報を入出力できるデータベースを構築地、 顧客の痛みや課題解決を目指している。								9							
サ 30 ビ ス		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	卸売業である当社は商品の開発はできないが、メーカーが開発した環境に配慮した商品の情報を適切に素早く顧客に提供し顧客の意識改善を促す。						6					12	13	14	15	
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	コロナ禍の影響で販売できなくなってしまった土産物メーカーとスーパーマーケット、当社の顧客である両者をつなぎ販売コーナーを設けてもらうことで、コロナ禍による社会的課題の解決に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7 8	9	10	11	12	13	14	15 1	6 17

								主な	SDGs	(17=	ゴール	16ع	9 <i>9</i> —	デット	-)関	連項	目		
	非該	チェック項目	取組	具体的な取組	1	2	3	4	5 (3 7	8	9	10	11				15 1	6 17
	当	7-7775	レベル	併せて記載してください。)	140. Mekir		3 ==== -w/\$•		7	7	*	***	10 (55)	Alle	⊘ 5 :::	4	Marian E	¥ ¥	***************************************
32 地域貢献・		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	3000余りある地域の飲食店顧客にむけて環境に配慮した製品の提案を積極的に行うことで地域のムーブメントを下支えする。 コロナ禍の影響で販売できなくなってしまった土産物メーカーとスーパーマーケット、当社の顧客である両者をつなぎ販売コーナーを設けてもらうことで、コロナ禍による社会的課題の解決に取り組んでいる。			:	3:Z4 3K4 3:AA 43K 43:				9		11	12		14	15	17
貢献 33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	3000余りある地域の飲食店顧客にむけて環境に配慮した製品の提案を積極的に行うことで地域のムーブメントを下支えする。				4						11			14	15	17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ								8	9		11	12	13			
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念は勿論、理念に基づいた各部門目標を明確にし、いかにしてこの目標を達成できるかをスタッフレベルまでブレイクダウンし、これを評価基準にすることを目指している。							8	9							17
36		【法令遵守】・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	ガバナンスの強化を年度に明確に打ち出し、コンプライアン ス、社内倫理を強化している。														10	õ
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	営業部門を中心に企業の社会的責任を意識した活動を行っている。														10	ĵ .
38 組織		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	企業理念とそれを実現する具体的な取組、その進捗について定期的にステークホルダーに報告し、協力体制を強化している。														1	6 17
体 制 39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	労災になる可能性のある社内のリスクは安全衛生委員会のリスクアセスメントに従い、随時改善している。 今後製品やサービスに対するリスクを特定、評価していきたい。														10	ĵ.
40		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動 が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	[予定]CSR方針の策定、CSRマネジメントプロセスを整備して いく														10	ŝ
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	[予定]BCPを策定・運用する 具体的案件としてはリモートワーク可能な環境を整えるにあたり、クラウドストレージサーバーの導入を予定している。								9		11		13 13.1		10	õ
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	[予定]後継者育成計画を策定に係る検討をすすめていく。							8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境対応商品の積極的な提案	食品のトレーやラップなど弊社の取り扱う商品の大部分がプラスチック製品であり表でありまするければ会社として議できない。一見すると我々の実績でもある。一見すると我々の実績が生ある。一見すると我々の実績ができる。一見すると我々の実績ができる。一見するとでしまうようでもある。商院して、遊説的に位置に存在しているわけも最も近い位置はがで最も少りで最もがでは、一切の				4K4 3:Z4 3K4 3:AA 43K 43: W43 K43: X43		6			9		11	12		14	15		17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取 り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)